

WE ALSO LOVE THE WAY.

## 「みち」への思い 聞かせてください。

「できる人ができる範囲で」をモットーに。

大沢男性ボランティアの会 代表 藤本征助さん

「大沢男性ボランティアの会」の発足は今から2年前の平成19年3月。始まりは大沢地区社会福祉協議会が定年後の男性を対象に、ボランティア活動のできる人を募ったことでした。

### ■頼もしい顔ぶれが19人

呼びかけに応じて集まったのは、藤本征助さんをはじめとする19人。現役時代はさまざまな世界で活躍し、第一線は退いたものの、気力も体力もまだまだ十分といった頼もしい顔ぶれが集結しました。

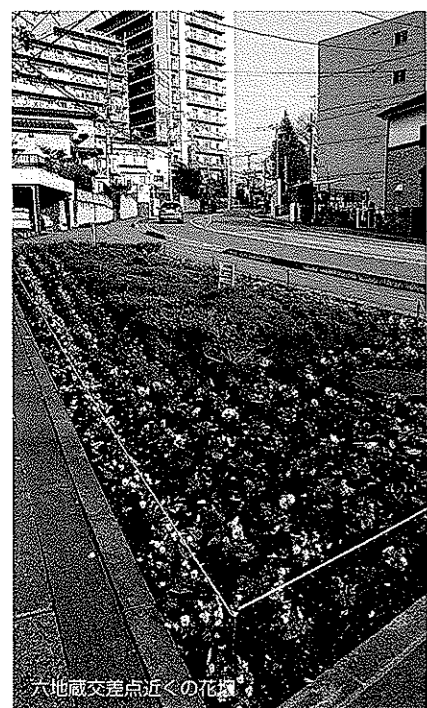
発足当時の主な活動は福祉関係の手助けでした。社会福祉協議会からの依頼を受け、近くの特別養護老人ホームや障がい者福祉施設などに赴き、車椅子の介助や夏祭りなどのイベントのお手伝いをしていました。

しかし時が経ちボランティア活動にも慣れてくるうちに、依頼を受けて活動するだけでなく、もっと自分たちができることがあるのではないかと考え始めます。

### ■荒れ放題だった花壇を整備

「きっかけとなったのは、六地藏交差点近くの花壇です。花壇にはさつきが植えられていましたが、手入れもされずにほったらかしになっていました。そのうえ、空き缶やペットボトル、ごみなども捨てられていて荒れ放題。目を覆うばかりの汚さでした。まずここをきれいにしようと思い立ったわけです」と代表の藤本さんは当時を振り返ります。

そこでまず藤本さんは市役所に出向き、その花壇を手入れする手段や手続きなどについて調べました。



六地藏交差点近くの花壇

「市役所は管轄がいろいろに分かれていますので、複数の部署が絡んでいたりして、めんどろなこともありましたが、でもいろいろな人の応援もあって道路補修課やみちの協会、みどりの協会などの協力が得られることになり、花壇の整備ができることになったんです。とはいえ、会のメンバーは花の名前はるか、植え方さえ知らなかった人たちがばかり。

「でも、花に詳しい人に教わったり、地域の人の助けもあって、ここまで手入れを続けてこられました」。



当日お集まりいただいた大沢男性ボランティアの会のみなさん  
当日は女性も一人いらつきました。前列左端が藤本さん

### ■たくさんの人に見てもらいたい

現在、会のメンバーが世話をしている花壇は4か所。そのうちの1つが写真の「みちの花壇」で、北総合体育館入り口の信号近くであり、昨年12月に整備を始めたものです。ここも雑草が根を深く張っていて荒れ放題でしたが、みんなで根気強く開墾し、今の状態にまで改良しました。今回、取材に訪れた植え替え作業当日は曇り空の寒い日でしたが、朝早くから7人が集まり、パンジーとピオラ、ノースポール、葉ぼたんを配色良く植えていきました。

「この花壇は交差点近くにあるので、信号待ちの車のの人たちに見てもらえるんです。わりあい広い花壇ですし、日当たりも良くて評判がいいですよ。きれいな花を見れば誰でも心が和むもの。信号を待つ間のほんの短い時間かもしれませんが、たくさんの人に『きれいな花だなあ』と思ってもらいたいですね」と、メンバー全員の気持ちを藤本さんが代弁してくれました。

### ■高校生のボランティアメンバーもお手伝い

また土曜日や日曜日の活動日には、近くの県立相模原総合高校の生徒がお手伝いにつけけることもあり、これもメンバーの楽しみの一つ。同校の先生の呼びかけに応じて、サッカー部や野球部などの生徒たちが集まってくれるのです。

「みんな楽しそうに手伝ってくれますよ。おしゃべりをしながら、私たちにとっても楽しいひとときです。人間は基本的に土いじりが好きなんだと思います。こうして土や草花に触れるのは、心身の健康にもいい影響を与えているのではないのでしょうか」。

### ■ますます活動の幅が広がりそう

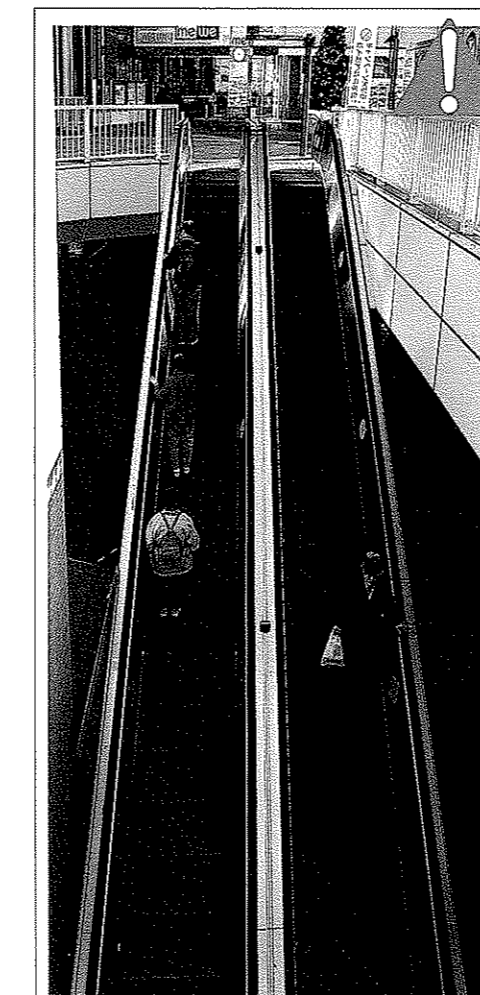
花壇の世話を始めた当初は何かと大変で「とにかく1年だけは続けてみよう」と気持ちを盛り上げながらの活動だったという藤本さん。

「モットーというほどではないのですが、『できる人ができる範囲でやろう』と決めていることが長く続ける秘訣かもしれません。メンバーはそれぞれ得意分野を持っていて、折衝が得意な人、段取りが上手い人、パソコンに慣れている人などいろいろ。みんなが自分の得意なところを生かしながら、上手に分担できているのかもしれないね」。

もうこれで手一杯と謙遜する藤本さんですが、これからもますます活動の幅が広がっていきそうな勢いを感じられる「大沢男性ボランティアの会」です。 (平成21年11月取材)



北総合体育館入り口の信号近くの「みちの花壇」で作業中のみなさん



## エスカレーターは、正しい乗り方・マナーを守って、安全に快適に利用しましょう!

前々号で「エスカレーターは安全な乗り物?」と題して、正しい乗り方について掲載しましたが、今回は、実際に発生しているトラブル事例から、利用上の注意点を紹介します。

### ▲高齢者は特に注意して!

高齢者の転倒事故が多く発生していますので、移動手すり(ベルト)をしっかりつかむなど、細心の注意を払って利用してください。近くに、エレベーターが設置している場所では、そちらの利用をお勧めします。

●乗車時に踏段(ステップ)と踏段の間に立ったために、段差が生じてバランスを崩して転倒した事例があります。必ず黄色い線の内側に立って乗りましょう。

### ▲自転車やベビーカーなどは乗せないで!

転落によりケガをしたり、混雑時には将棋倒しなどの原因となる恐れがあります。エスカレーターには、多くの安全装置が付いているので、本体にぶつかりすると非常停止することがあります。

### ▲踏段(ステップ)上を走らないで!

駆け上がったたり、下ったりするとつまずいて転倒する恐れがあります。また、安全装置が働いて、非常停止することがあり危険です。

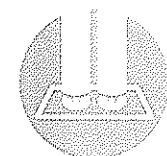
なお、エスカレーターの安全基準は、踏段(ステップ)に立ち止まって利用することを前提にしています。

### ▲ロングスカートなどの着用時は注意して!

スカート・ズボン・ロングコート等は踏段(ステップ)の隙間などに挟まれやすいので、エスカレーター本体に触れないように注意してください。

### ▲利用中は鞆やポケットから物を取り出さないで!

エスカレーターにカード等を落として、踏段(ステップ)脇の隙間などに入り込んでしまうケースがありますが、機械の構造上、落し物が見つからないことが多々あります。また、捨てる行為が事故の原因となる恐れもありますので、利用中は、物を落とさないように注意してください。



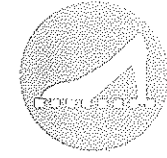
黄色い線の枠内に



ベビーカーなどは乗せないで



走らないで



すき間や溝に注意